

人類学演習 I 談話会

日時：7月2日（金） 16:30～18:00

場所：理学部2号館402号室

<講演者>

熊谷 真彦さん

(東京大学大学院 分子人類・分子進化学研究室)

<講演テーマ>

栽培イネの進化を探る：古イネ DNA 分析の可能性

<要旨>

アジアにおけるイネの栽培は約1万年前に始まったと考えられている。栽培イネの進化史を明らかにする上で、遺跡から出土する古代のイネ（炭化米）のDNA分析を行うことにより、直接的な知見を得ることができる。遺存体の古DNAは損傷を受けており分析は困難であるため、多コピーであるオルガネラDNAが通常用いられる。古DNAの分析を行うにあたり、現生イネの遺伝的多様性の情報がリファレンスとして不可欠であるがこれまで十分な解析がされていない。そこで現生のアジア栽培イネおよび野生イネ216系統について葉緑体ゲノム中の多変異領域の塩基配列を決定し分子系統解析を行った。次にこの解析から得られたマーカーを用いて中世および弥生時代の遺跡から出土した古イネDNA分析を行った。また、近年栽培化関連遺伝子の同定が進んでいる。これらの遺伝子の中からコメの白色化に関わる遺伝子 *rc* とコメの幅に関与する遺伝子 *qSW5* について系統解析を行った。これらの解析を通してイネの栽培化過程と古イネDNA分析の可能性について考察する。

今後の予定

7月9日 松本さん（琉球大学）

7月16日 田宝さん（石田研）

担当：神田真男（植田研）